

モルゲンロート

創刊号 平成 27 年(2015年)3 月 23 日(月)

杉村ひろし後援会活動通信誌、不定期発行、全戸配布
連絡先 浦富1690番地1 杉村宏 TEL 0857-72-0981

創刊にあたり 昨年5月よりお配りしている杉村ひろし討議資料でお約束した、当後援会の通信誌「モルゲンロート」創刊号を、ようやくお届けすることができました。この通信誌は、町民の皆様と杉村ひろしが、政治活動を通じて、明るい今日、そして将来にするため、町の情報、杉村ひろし及び後援会の活動内容を共有する道具として、発刊するものであります。至らない部分が多々あろうかと存じますが、お読みいただき、ご意見がいただければありがたいところです。 杉村ひろし後援会 会長 山本准二
(モルゲンロートとは、登山用語で、朝日が高峰の頂きよりあたり始め、明るいオレンジ色に輝く様であり、杉村宏が高校総体で南アルプス北岳の光輝く様を観て感動し、明るい今後でありたいとの思いから誌名といたしました。)

目次 P1 H26.9月一般質問、P2 H26.12月一般質問
P4 その他報告、活動報告会のお知らせなど
次号予定 当初予算質疑、各議員の質問状況など

平成26年9月16日 杉村宏議員一般質問

1 (問)道の駅の情報共有を進めたか (答)深く反省している

杉村 民主主義の基礎は情報の共有だ。6月議会で、道の駅の情報共有は町広報などあらゆる方法を講じるとされたが、6月議会終了後、情報の共有をどのように図ったか。

町長 道の駅の整備は、情報共有が何よりも重要。広報いわみは 10 月号の予定。ホームページは、経過、コンセプト、内容、設立協議会の協議内容を随時追加、テナントの一部であるレストランを掲載した。

杉村 第9回、第10回の設立協議会概要は、いつホームページに掲載したか。(13分間休憩)

町長 ホームページの日付(8月8日)どおりに掲載と思っていたが、最近の掲載だ。申しわけない。

杉村 ホームページには、8月8日に9回、10回の協議会の概要を掲載となっているが、問題ないか。

産業建設課長 掲載の日付が遅れた。掲載日は先週(9月8日の週)である。

町長 正確な日にちに改めさせる。一般質問の通告(9月8日)を受けてから掲載したと思う。重ねておわび申し上げたい。(後ほど9月9日に訂正されていた。)

杉村 町広報は、今度の10月。インターネットは9月の当初。情報の共有は進んでいない。

町長 深く反省して、おわびを重ねて申し上げたい。

杉村 QアンドAをホームページに掲載しないか。

町長 Qがつかみづらい。持てる情報は漏らさず出す。

杉村 質問があればどうか。返答を町全体で共有したい。

町長 質問された方が了解いただけるなら、可能だ。町に対する意見を回答し公表する。

杉村 収支の見込みを示すことはできないか。

町長 事務局素案はあるが公表に値しない。町が全面的に責任を持つが、出資者も収支や計画にかかわっていただき進めている。早く出す。(H27.2/23 全協提出あり)

杉村 収支が示されていない段階で、予算案(9月補正予算案に、道の駅整備事業費として、土地・建物購入及び整備費の3億357万4千円が計上)を提案するのは、逆だ。先に、(道の駅運営)会社の収支見込みなどの方向が示されてから(予算を)判断するものだ。

町長 指摘のとおりだが、理解をいただき進めたい。9月に予算をお願いしたい。

賛成討論 2名 田中克美議員、柳正敏議員

反対討論 2名 杉村宏議員、松井俊明議員

杉村議員の反対討論趣旨

町民の多くが応援しようとする段に至っていない。収支見込みが示されていない段階で、しっかりした経営体の見込みが立てられるまで判断できない。

結果 賛成9名(寺垣、宮本、川口、田中伸吾、澤、日出嶋、芝岡、田中克美、柳)議員順は議席順、以下同様、敬称略
反対議員2名(杉村、松井)で9月17日可決されました。



(千貫松島 H27.1.2 朝 網代は北西の風がきついです)

岩美町議会ルール 議会だよりで、一般質問を広報するページは、質問内容の多少にかかわらず一議員1ページ。掲載内容は、その時の担当編集委員によるところが大きく、質問者の質問時間は30分以内に限られていますが、内容が多い場合は、表題のみ記載とし割愛部分が多くなる。

なお、一般質問は議会開会前の1週間程前までに希望する議員が質問事項・要旨を通告し、執行部は一般質問実施日までに答弁を検討されます。

2 (問) 観光周遊ルート整備を

(答) 浦富海岸整備計画に盛り込むよう検討

杉村 網代から桐山城までの稜線に自然歩道を整備して、周遊ルートの開設をしてはどうか。

町長 浦富海岸の整備計画に盛り込みたいが、困難部分もあり、検討する。

3 (問) 漁業後継者を地域おこし協力隊で募集を

(答) 地域おこし協力隊制度では困難

杉村 沖合底引き網漁業支援に、地方創生で働きかけをしてはどうか。

町長 漁業を守る取り組みを、今後もしていく。

杉村 漁船員の後継者不足対策は、全国から地域おこし協力隊の制度を利用して募集しないか。

町長 地域おこし協力隊は、35 時間の週労働時間がある。底引きの乗組員にはネックになる。沿岸漁業であれば、週労働時間はクリアできる。



(田後港 H27.1.2 早朝 Free のお客様少しおられた?)

平成 26 年 12 月 16 日 杉村宏議員一般質問

1 (問) 中央公民館の建てかえについて

(答) 計画案策定後に意見を聞く

杉村 計画案作成前に、意見や夢を語れる機会を。

町長 全て白紙の状態でご意見を伺うのは適当でない。

2 (問) 浦富 IC と周辺道路整備について

(答) 供用開始に間に合うよう努める 町長

杉村 地域高規格道路に接続する県道等の、安全・安心な整備見込みは、町内 3IC 周辺の交通事故の発生状況は、

町長 東浜ICは、1年間7件が、6年経過で1件、6件の減。岩美ICは、1年は19件が、昨日現在3件で、16件減。大谷ICは、36件が1件で、35件減。事故の防止対策にも自動車道が貢献している。

杉村 浦富IC開通後の県道、町道の交通量の見込みは、

町長 町はしていない。兵庫県方向からは、浦富ICを使用するのでは。

杉村 県道網代港岩美停車場線の改良見込みはどうか。

町長 浦富ICから北側で用地に難航。供用開始に遅れる。

杉村 浦富ICから南側はどうか。

町長 南側は、サンマートの南側から交差点までは27年度完成を目指して努力をすとの返答だ。サンマートから役場までの間は、27年度調査設計の予算要求段階。

杉村 町道前田線の改良は冠水対策も併せてどうか。

町長 浦富ICが開通するのに一部供用でも間に合わせたい。延長230mで大清水町入口から県道に取りつく。平成27年度までの繰越事業。熊野神社から大清水町入口は、今年度詳細設計、27年度用地買収、28年度の工事完成としたい。排水対策は、県の協力を得る。歩道は全線だが、両側は困難。バス路線の変更を協議している。

杉村 前田線と町道浦富中央線との優先道路は、

産業建設課長 前田線が優先道路になる。

杉村 新たな交差点は、傾斜があり曲がっている。浦富中央線では一旦停止など交通規制が変更になる。安全対策が必要だ。警察等の意見はどうか。

産業建設課長 警察等と協議し設計している。

3 (問) 岩美町の中心市街地形成について

(答) 先行投資すべきでない

杉村 交通の結節点となる高規格道路IC、鉄道駅周辺の交通便利のよい地域の発展を進めることは、本町の産業の振興、人口の増加に資する。浦富IC南側の県道から東側に伸びる何本かの町道の拡幅はどうか。

町長 中心市街地のビジョンに同感するところはあるが、道路は何のために拡幅するのかということから議論が始まるべきで、ここの町道を拡幅する考えはない。

杉村 浦富相谷3号線の沿線にスーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストアの立地があり、交通量は相当にあるが歩道はない。高齢者が行かれる際の安全な歩行、自転車、電動カートなどでも行くことができ、当然に自動車でも安全に行くことができる環境を整えること

が、定住化につながる。町道拡幅を、再度お聞きする。

町長 全体的な土地、土地利用計画で考えたい。両側の店舗展開だが、期限つき借地。岩美駅を存続発展させ、中心市街地としていく考え方は一緒であるが、道路を先に拡幅し、農地転用を促進するまでの考え方はできない。具体的に進出企業が決まっている場合でなければ農地転用は困難だ。地盤が軟弱で、住んでおられる方が苦渋をしておられる。住宅地としては不適切。町内には民間開発の宅地があり、ここを町がということは、今は無理だろう。

杉村 町人口の減少推計もある。沿線に進出の事業者が将来商機の減少により撤退等の判断をされることも考えられる。そうならないために、今のうちに町民にとっても買い物がしやすく、進出いただいた企業にも喜ばれ、更に新たな進出を吸引するため、浦富相谷3号線の拡幅は重要だ。農地転用、上下水道管の布設等の負担軽減のため、上下水道管の布設はどうか。

町長 人口減少で商業活動の採算性悪化で、撤退の状況が起きるかもしれません。それを見越しての行政対応は、ほかにやらなければならないことがあり、優先順位をつける中で選択しなければいけない。先行投資、先行配管は、具体的な開発行為を誰が行って、そこに届けていくことを行政として後押しものだ。農振用地への影響もある。

4 (問) 網代漁港施設用地等利用計画について

(答) 地元と調整し進めている

杉村 網代、大谷地区の振興のため、陸上養殖の進展は。

町長 陸上養殖は平成 24 年度に県が井戸を掘り、その水で養殖する計画だ。24 年7月ごろ試掘し、網代港に、3 つ井戸を掘った。1カ所適正な水が得られる。その後、鉄分が出て、改めて試掘の工事を発注する。2社、町内の事業者が1人、大阪の会社が名乗りを上げている。

杉村 事業者のせつかくの意欲をそぐことがないよう、速やかに進め、新たな事業の創業、開業により、雇用の機会を創設するため、早期に進捗すべき。

網代港を発着のシーカヤック体験の件数は。

町長 シーカヤックは、平成 26 年度 1,929 人である。

杉村 現在の網代漁港施設用地等利用計画では、漁業に関する利用に限られ、漁業以外の利用はできない。シーカヤック関係の施設は検討すらできない状況だ。利用者は増加している。地元の沿岸漁業者も、我慢なされてる

部分がある。ジオパークを利用した地域振興において、千人規模から万人規模に成長させ、新たな雇用の創設につなげるための、シーカヤック拠点施設の建設は。

町長 シーカヤック協議会で調整し取組んでいる。体験の目玉事業にしたい。網代港は、港からの出入禁止とか、漁業者のものだから使わせんというようなことは一切起きていない。小舟の方々の出入りに、安全上不安なことが起きているが、漁業界との話し合いがあり、団体の要望も受け、旧港施設の一部利用や、艇収納のコンテナなど、前向きに県と町とで応援をする。

杉村 利用者が伸び、新たな雇用が創設できるよう努力すべき。

4 (問) 職員の勤務時間について

(答) 特に問題はない

杉村 役場に職員のための衛生委員会が設置されているが、開催は適切に行われているか。

町長 24 年が3回、25 年が1回、26 年3回開催している。

杉村 衛生委員会から事業者に対する意見はあったか。

総務課長 過去3年間、意見の申し出はない。

杉村 時間外勤務手当支給のない管理職員も含め、時間外勤務の近年の状況はどうか。

総務課長 職員は、平成 24、25 とも一人当たり平均で大体 100 から 110 時間で、26 年は大体 110 時間程度と推測している。管理職員は、時間外の管理をしていないが、申告では、200 時間程度である。

杉村 職員の健康に十分留意し、管理を行っていただきたい。



(浜浦富の荒砂神社に H27.1.2 灯明が灯されていました。正月2日早朝、雪の中にもかかわらず、写真撮影の方がおられました。Free!ファンの方?)

杉村宏議員の活動のうち その他報告

1. 議長立候補者の所信表明放送について

(H26.7.28 全員協議会)

杉村議員の主張

「議長立候補者の所信表明は、本会議で行い主権者に公開されている町議会もあることや、岩美町の議会の代表者を決める選挙であることから、本町においても、放送し町民に聞いていただきたい。」

賛成議員 松井、田中克美 (敬称略)

反対議員 寺垣、宮本、川口、田中伸吾、澤、日出嶋、芝岡、柳、船木

(主な反対理由 今後検討したい。)

2. 議長・副議長選挙における投票

(H26.7.29 臨時議会)

○議長選挙 立候補者2名

田中克美議員、船木祥一議員

杉村議員の投票 田中克美議員に投票

投票理由 所信表明において、議会改革の姿勢が具体的で説得力があったため

結果 田中議員2票、船木議員9票(無記名投票)
無効1票(田中のみ記載)

○副議長選挙 立候補者1名 柳正敏議員

杉村議員の投票 柳正敏議員に投票

投票理由 対抗する候補者がなく、やろうとする方を応援する立場に立ったため

結果 柳議員9票、無効3票(無記名投票)



(岩美町の議場。会議中はカメラ持ち込み禁止ですので、その前に撮影しました。)

杉村ひろし後援会活動報告会

開催日時 平成27年4月26日(日)午後2時

場所 岩美町中央公民館 2階 第一研修室

備考 前回10月26日に浦富地区公民館(なごみの館)で、初めての活動報告会を行いました。開催後、浦富以外に居住なされている方から、参加しなかったが行きにくいとのご意見を頂きました。

このたびは、岩美駅前の中央公民館で行います。選挙権の有無にかかわらず、中学生や高校生の方でも、男女を問わず、参加者少数でも行いますので、お時間がいただければ、ご参加ください。

なお、この活動報告会は9月、3月の定例会後を目途として、今後も年2回程度行う考えであります。(後援会会長)

似顔絵を募集します！



左は、平成26年7月選挙時に用いた 55 歳の写真です。(現在 56 歳)

写真、イメージ、印象など、何をもとにした似顔絵でも結構です。描いていただけましたら、次回以降、順次掲載いたします。採否は編集者にお任せ願います。お礼は特に考えておりません。

その下、イラストは 10 年ほど前に、道路改良の計画策定までの苦労話を本にしたのですが、その際、近所の奥さんが描いてくれて、本の背表紙に使わせていただいたものです。



44 歳 係長

だいぶ薄くなりましたなー(後援会会長)

編集後記 杉村宏議員は、一般質問や全員協議会の録画放送を見て頂いた方から、個別に応援のお言葉を頂いており、大変ありがたいことと受け止めておりますが、多くの課題で、岩美町議会の各議員や町執行部の賛同を得るまでには至っておらず、昨年7月の選挙時に訴えさせて頂いた政策が進展していないことに対し、力不足を感じ、投票いただいた多くの皆様に大変申し訳ない思いであります。

本人は更に努力するところですが、引き続いて、ご支援や応援を頂き、議員の力となっただけですよう、お願いいたします。

なお、本誌は議員本人が町内全戸へ直接配布しておりますので、配布漏れ、配布時期の前後についてはご容赦願います。(由)